

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	令和 7 年11月 袋井市教育委員会 定例会
招 集 日 時	令和 7 年11月11日 (火) 午前 9 時30分
会 議 時 間	午前 9 時27分から午前 10時51分まで (1時間24分)
場 所	袋井市3階ICT研修室
出 席 者	鈴木一吉 教育長 鈴木万里子 委員 溝口知秀 委員 吉田陽子 委員 (計：4人)
傍 聴 者	無し
当局出席者	石黒克明 教育部長 小澤一則 教育監 山岡ゆかり 教育企画課長 戸塚建司 おいしい給食課長 荒浪 健 教育保育課長 田中 慎 学校教育課長 中村悟史 魅力ある部活動推進室長 中村聡志 生涯学習課長 小久江暁子 袋井図書館長 渡邊規恵 教育企画課課長補佐 廣岡真理 教育企画課教育総務係長 (計：11人) (合計：15人)
会議に付した 事 件	別紙「令和 7 年11月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和 7 年11月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：令和 7 年11月11日(火)

午前 9 時30分開会

場所：袋井市教育会館 3階ICT研修室

会 議 日 程

- 日程第 1 開 会
- 日程第 2 会議録署名委員の指名
- 日程第 3 会議録の承認
- 日程第 4 教育長報告
- 日程第 5 教育部月例事業報告
- 日程第 6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）協議事項

協第25号 令和7年度 11月一般会計補正予算について

協第26号「袋井市学校教育における生成AI活用に関する暫定的なガイドライン」（案）
について

協第27号 令和 8 年度学校給食費の改定について

協第28号 公立幼稚園の再編に向けた検討事項について

（2）報告事項

報第95号 寄附の受納について

日程第 7 その他

（1）連絡事項

ア NHK 静岡「給食ラジオ」取材・撮影について

イ 「高校生がみた袋井の文化 写真展」の開催について

ウ 令和 8 年 袋井市はたちの集いの開催について

エ 『郷土の歴史と縄文ミニランプづくり』講座 開催について

オ 「ふじのくに民俗芸能フェスティバル」の開催について

（2）次回定例会等の予定について

1 2 月教育委員会定例会

令和 7 年 1 2 月 2 4 日（水） 午後 1 時 3 0 分

デンマーク牧場 こども家庭サポートセンター

(3) その他

日程第9 閉 会

1 開会

●教育長

2 会議録署名委員の指名

●教育長

鈴木委員と溝口委員 を指名

3 会議録の承認

●教育長

10月の定例会の会議録については、承認

4 教育長報告

●教育長

資料にて確認

5 教育部月例事業報告

資料にて確認

6 議事

【協議事項】

協第25号 令和7年度 11月一般会計補正予算について

●教育企画課長(資料に基づき説明)

1 歳入(寄附金として計3件)

2 歳出(教育関連中心。教育企画課所管の項目を含む)

3 債務負担行為(2件)

4 質疑・補足説明

○おいしい給食課 債務負担行為の補足件数:2件

- ・現行契約(～令和8年7月)の終了に伴い、令和8年8月以降の業者選定に備えて債務負担行為を設定するため
- ・契約期間について、現行は5年間(～令和8年7月)。次期は3年間(令和8年8月～令和11年7月)に短縮

- ・短縮の理由は人件費等の急速な上昇や、幼稚園の再編等で配送ルートが変わる可能性があるため、将来見通しの柔軟性を確保

○ 教育保育課 放課後児童クラブ運営費

- ・和6年度における放課後児童クラブの運営に関する国の補助金について、交付金額が確定したことから、超過交付分を返還する

協第26号「袋井市学校教育における生成AI活用に関する暫定的なガイドライン」(案)について

●教育企画課長(資料に基づき説明)

1 生成AI活用に関する暫定的なガイドラインの概要

- ・目的：教職員の校務における事務負担軽減と働き方改革の推進のため、生成AI活用の暫定ガイドラインを作成する。
- ・対象：教職員の校務のみ（児童生徒の利用は当面なし）。
- ・利用ツール：無償で使えるMicrosoft Copilotを想定。

2 用途と使用上の注意

- ・主な用途：文書の要約・構成改善、アイデア出し、数値集計など日常事務の簡略化。
- ・入力上の注意：教育情報セキュリティポリシーに従い、児童生徒の氏名・学習記録・学校運営情報など個人情報は一切入力禁止。
- ・成果物の取り扱い：AI出力は誤りや著作権問題の可能性があるため「参考」として扱い、職員が確認・修正して最終成果とすること。
- ・選定基準：国内にデータが保持され、入力情報が勝手に学習に使われないこと、職員の負担が少ないことを重視。
- ・課題と暫定性：利用ログが取れない点が課題のため、ログ取得可能な整備が進めばガイドラインを改める予定。まずはルールを守った上で暫定運用する。

3 今後の予定

- ・定例会で承認後、学校へ配布し、速やかに運用を開始する予定。

<●溝口委員>

色々作ってくださいというと、あっという間にできて楽である。

ただ、使い方はきっちりしとかなないと。

必要なのは色々な使い方ができるのでみんなで共有するのが1番で、効率化につながると思います。ぜひ共有化をやれるといいと思う。

<●吉田委員>

ガイドライン決めるのは何の異論もない。

でも、教員の方たちが慣れるまでは、逆に業務量が増えて時間とられるのではないかという不安もあるので、使い方や効率的なものは共有化していただきたい。こういうところに使えそうみたいなアイデアとかはあるのか。

<●学校教育課長>

アンケートの集計で、膨大な量の子供たちの意見が出てきたときにまとめられる。校務パソコンではこれまで使えなかったもので、いろいろ改善をされる。有効な使い方を共有していくことが重要だと思う。

<●鈴木委員>

ガイドラインは必要だと思っている。遵守事項の中で、重要性分類3以上、その解釈が難しい。表にある4のところしか使えないということですね。

<●教育企画課長>

これは概要版なので、実際には本体のガイドラインがある。
要は事務的なもので使ってくださいということです。

<●鈴木委員>

しっかり押さえていかないと怖いと思った。

協第27号 令和8年度学校給食費の改定について

●おいしい給食課長(資料に基づき説明)

1 概要

- ・背景：物価高（特に米・野菜）の影響で給食費が上昇。令和7年度に続き令和8年度も値上げが必要と判断。
- ・現状負担：給食1食当たりの経費は約700円で、保護者負担が約300円、市負担が約400円（負担割合は概ね4：6）。

2 値上げの方向性と金額案

- ・案：1食あたり約17～19円の引上げ（結果、月額で保護者の負担が概ね200～300円増加する想定）。
- ・令和8年度の保護者負担総額見込み：約5.6億円、市の負担：約6.7億円（1食当たりの経費は約700円→約740円に上昇）。

3 物価状況と見通し

- ・野菜や米の価格が大幅上昇。例示として米価格の提示（現状→来年の提示額：5670円→7992円）
- ・これまで国の交付金を活用して保護者負担の抑制を図った年度もあるが、継続的な物価上昇への対応が必要。

4 費用抑制の取組

- ・地元産米の安価購入、給食センターでの炊飯、食材調達の工夫や提供頻度の調整（デザート等の回数削減）などで価格上昇を抑える努力を実施。

5 算出方法

- ・直近1年間の食材購入実績と献立による必要栄養量を基に物価上昇率を掛け合わせ、主食・牛乳等を加えた上で1食当たり単価を算定する方式を採用。

6 値上げを行わない場合の影響

- ・食材量や牛乳の提供回数を削減せざるを得ず、栄養面（カルシウム等）への影響や給食の質が低下する。

7 判断基準（今後の運用）

- ・消費者物価指数（食料）を基準に、10月時点で翌年度の上昇見込みが5%を超える場合は値上げを検討。米など特定品目の大幅変動も別途検討要件とする。

8 関係者の意見・合意

- ・学校給食運営協議会では、値上げはやむを得ないとの意見や、取組内容の情報発信で理解を得るべきとの指摘があり、了承を得ている。

9 国の無償化動向と課題

- ・国レベルで小学校給食の無償化が検討・合意の動きあり。ただし、公平性、全国格差、費用分担（国と地方）、幼稚園等の扱い、安定財源の確保など多くの課題がある。
- ・袋井市としては、国の支援が全国平均額で行われた場合に市の実情と差が生じる可能性や、幼稚園等への対応で追加負担が発生する点などを課題として整理している。

10 今後の予定

- ・本日の教育委員会後、関係会議で報告を行い、年内に保護者へ値上げ方針と関連情報を通知予定。国の動きがあれば改めて報告する。

<●吉田委員>

給食費値上げの基準設定について、基準を設定すること自体はいいと思うが、給食費値上げの基準で、物価指数が前年比5%を超えると想定された場合に、値上げ検討する想定はどうするのか。

<●おいしい給食課長>

10月に給食費の次年度金額算定を行います。

その時点で、公表されている消費者物価指数は2か月ほど遅れるので、具体的には8月の消費者物価指数と前の年の8月、1年前と比較して、何%上がっているのか出る。

1年後、翌年の8月の段階で見通しは、過去の直近1年間の上昇率が、そのまま来年度8月、今回は約7%上がっていたので、去年の8月に恐らく7%ほど上がっているのではないかが一つの根拠である。

消費者物価指数が、今回は食料の基準を採用しているが、食料が実際に上がるかどうか、誰がどこで判断するかというところが重要である。

消費者物価指数は総務省が公表しているが、将来、消費者物価指数が上がるかどうか、見通しで内閣府が出しているものは、食料ではなくて、全体として総合というものがあり、その中に食料とか住宅とか色々な種類があり、この総合では内閣府が来年度1.9%上昇すると見込んでおります。

食糧については、過去7%ほど上がったので、内閣府も総合としては上がると見込んでい
るので、上がるという可能性が高い。

もう一つは、過去の上昇率が7%だったので、来年度7%程度という見込みである。

<●教育長>

食料品の消費者物価指数の将来の上昇率は、オーソライズされたものではなく、唯一内閣府
の総合の指数が出していて、トレンドは分かる。

食料品は、過去しか分からないので、総合で恐らく食料品も同じように上がるだろうと見込
んで、去年5%以上上がっているので、来年も5%以上上がるとの見込みで立てている。

来年度の分を給食費の見込みは消費者物価指数を使うしかないと思う。

総合の指数のトレンドから食料の消費者物価も同じように上がるだろうと見込むしかないので、
そのように計算をすればご理解を頂けると思う。

上昇率としては、食料品は値上げ幅が大きいので、食料品を含んだ総合指数が上がるなら
ば、食料品も同じように上がるだろうと考えている。

<●溝口委員>

そうすると、消費者物価指数が大幅に下がると想定された場合は、値下げもあるか。

<●教育長>

給食費の食材費は保護者が負担するから、食材費が下がれば、給食は下がる。

今までは物価が一定だったので、同じ金額でよかったが、ここに来て、ずっと物価高にな
ると、どの基準で値上げをするのか議会でも言われた。過去の実績で5%で線を引けば今の
状況の中で賄えるということが経験値で分かった。したがって、この基準を設ける。

<●吉田委員>

保護者の要望として、子供たちで給食が学校生活の中の楽しみの一つであり、特に給食の
中でもデザートやフルーツがあったりすると、1日頑張ろうという気持ちになる。値上げ分
は仕方がないし、費用を削減しなければならないのも分かるが、子供たちの楽しみもある程
度確保してもらいたい。

<●教育長>

無償化の議論が、なかなか見えてこない。

財政の予算要求は終わっているのですが、来年度の4月からできるか、具体的な姿が見えてき
ていない。ただ、11月に詳細が分かるというような話がありますが、よく見えない。

無償化という全国的な圧力が高まれば、対応せざるを得ない状況になっていく。

課題は、本当に実施していくには大きな調整が必要なのか、また詳しいことが分かったら、
また教育委員会の場で話し合いをしたい。

<●鈴木委員>

無償化で給食の量が減り、質が落ちるより、お金払っても子どものためにさせてもらいたという人もいと聞いている。その辺のところはどうか。マスコミ報道でも無償化しようということが出ると、皆がそれを求めているのかどうか。

<●教育長>

お米の値段が上がったとしても、その対価を払ってでもおいしいものを食べさせてくださいと保護者がいる一方で、1人の委員は、子供は米がわからないから安いのでいいと言われた。意見が二つに割れた。

だから、この意見を集約するのは非常に難しく、市も提供し、国が納めた金額では収まらないので、上乗せ分は保護者にくださいと言ったときには、賛成と反対とわかれる感じはする。

その範囲内だけで給食提供してくださいと方もいるかもしれないし、今のクオリティーが下がるのはやっぱりどうかという方もいとは思う。意見集約はなかなか難しい。

<●溝口委員>

無償化というと何かすごくいいものが、ただで食べられると思っている方もいると思う。無償化というよりもこれだけ補助しますと言ったほうが、現実的かなという気がする。無償化のほうがうけはいい。

<●教育長>

政治的には非常にうけがいいと思いますが、なかなか悩ましい課題です。

教育委員さんには、どちらの方向性を出していけなければならないと思う。

協第28号 公立幼稚園の再編に向けた検討事項について

●教育長

それでは、協第28号を非公開といたします。

(以下、協第28号について非公開)

報第95号 寄附の受納について

●教育企画課長

(資料に基づき説明)

寄付金(教育企画課)

児童用図書等(袋井図書館、月見の里学遊館図書館分室、浅羽図書館)

7 その他

(1) 連絡事項

- ア NHK静岡「給食ラジオ」取材・撮影について
- イ 「高校生がみた袋井の文化 写真展」の開催について
- ウ 令和8年 袋井市はたちの集いの開催について
- エ 『郷土の歴史と縄文ミニランプづくり』講座 開催について
- オ 「ふじのくに民俗芸能フェスティバル」の開催について

(2) 次回定例会等の予定について

12月教育委員会定例会

令和7年12月24日(水) 午後1時30分

デンマーク牧場 こども家庭サポートセンター

(午前10時51分閉会)

9 閉 会